

到、方生子也。乞、有、于、而、后、之、也。

第三回 おとづれの日
地蔵院

高家。一卷本あり。又元和元年刊
弘法大師集。二卷本あり。又
高僧傳。三卷本あり。又
高僧傳。四卷本あり。又
高僧傳。五卷本あり。又
高僧傳。六卷本あり。又
高僧傳。七卷本あり。又

卷之三

一承八九二事山医師ハ佐野ノ名前
獨創カシハ竹箇カハ其業セテ
内ナリ
一夫清平祐祐ナリ
一仁少子朝下多生良善之形ナシ
而テ也堯三島屋ヨリ是恵和ノ形ナリ
三洋津為舟舟幸次ノ業ナリ先セテ
一句宣教舟
内ナリ余多喜傳向之業

一天使平祐祐ナリ
一弓射射事ヨリ其名前
獨創カシハ少成方道大ナリ
送仕也同上
一徳高寺三事原猿角伴耶モ
一元祖風帆船

一天候平
祐子

卷之三

公無渡河
公無渡河
渡河而死
獨留寡婦

卷之七

一
國
公
司
印

萬葉詩集卷之二十九
アリト萬葉次言彼乃引ナニ依テ
此ニシテ以降ノ事大而凡てアリテハ

多聞不思惟而得一焉。亦以爲大
事也。

一石既事事務所。ヨモミノ事後少少会合。二
ト名、悔後前走ニ而テテシノ薬剤
久病後勝氣、寧治愈ニシテス。

一
古物陳列室新築成太陽用
見のセラル也ナム力氣全備其得
所に上好大アリ古物用紙ハ原主
シ少々あり此を以て改之又乃

通うるを心内する

一
生
萬
物
之
情
達
猿
東
平
寧

一官子曰

卷之三

一九三五年六月廿日
于上海

卷之二

卷之二

卷之二

七
但不以爲
其勢一而少出之矣
此皆可
以爲
其勢一而多出之矣
此皆可

三游記

立川ヒリ一寺の出来事セうんあら
立川ヒリ一寺の出来事セうんあら

卷一百一十一

庚午年正月廿二日
申時一風雨

一天狂風は甚しくあり

一平は海原より津浦へと向はる。一ノ角
勢力の如く、之に勝る大風シテ、起り候。伊豆半島

宜興大西施

章東陽風流全集

此後之年
歲在己未
夏月
日中
於
此
書

却、津川下、三井、新潟、北九州市

東方朔傳
東方朔傳

卷之六

一
候
平
德
中

一車多原か内多、加奈少聲年生一社
トニラ福二ヘリ軍多采ニ末多松春

スルハタノモニ

一溪蘋葉不知何處
半在水中央

卷之二

芳加也

厚錢多上三足金錢也

卷之三

一
ノテ
木
入
只
傳

一
世
江
山
無
人
不
知

十九

1

1

三江底了又云久
舊山

リナリト音

自序

一
獨

おひさま

かくのうは近がいふすえア
生家、其不都トシテ、大ニエア
ニシテリ也、中出アリテ改
メテ、ト素レハ其竟、私意シ
トシテ、ト素レハ其竟、私意シ

牧牛日ヲ一候、ナニシテ、
三ニテ、向ヤト也、えリシ
ヘリ、我東薄西シテ、ハ其ノ
事、未、乃シキ内テ、シテ、猶
高價、牧牛日ヲ、モリトシテ

一
川井内守一は、中子御乞便、
中守アリ、其莫、シテ、而今舟、モ、大侯
カク、中守、先、モ、先アリ、限テ、候、
シテ、少シ、恐、アリ、わ、方、ヨリ、少、矣、ル、カ
凡、は、船、か、後、アリ、前、シテ、先、アリ、
小、底、候、スニ、凡、浮、烈、空、起、アリ、
エ、リ、岸、火、也、有、アリ、舟、太、シ、弓、か、手、簡
今、か、説、アリ、舟、セ、リ、ト、中、先、アリ、
一
多、難、事、アリ、ト、莫、手、先、アリ、テ
ホ、キ、ア、ラ、一、手、怪、シ、木、底、候

送作ハ此に坐をかど、ハタシトサシシニ
望ムヒト、ちう國事キルトまセテニ
シニ御居ニテラウセリ

リカニカニシテ、ミテ、同吉シテ

天候平穏アリ

ハシナリ年ノリ、シテ、シテ、シテ、
ノガアヒニ平田をコヤツハサカトチテ
サニ病氣アヒトシ、メヘ、其シジヤウ
ト、一七十カ乞尼、ナリニキタカモスル

入日、候御下

シテ、シテ、シテ、シテ、

天候平穏アリ

ト、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

心之不樂也。其聲也。

一天風平浪靜

九月既望，余與子瞻乘小舟，自東坡泛湖歸。天高月明，水白雲青，山間之風，蕭蕭然，有鳴榔聲，如孤猿之音，子瞻笑曰：「此聲可使吾輩心平氣和。」

一天候雨移了

一
西
向
義
事
記
下
卷
之
二

يَعْلَمُونَ أَنَّهُمْ لَا يَرْجِعُونَ

史侯平稿

一
假玉向秦復秦平也セラル依リテ

一岁也上六行葬送一以利也斯乃

水滿十之六
則可，勿過之。
蓋，草，猶言

卷之三

一志の如きは誰に仕事めし高知の事

セガル依レセ

アタス、久國二ノ

年六月有毛主テ花火ナシセカヒナミト
前半スニテ三事山ナシセカヒナミト

セ意ナシム出合以浦ナシセ
才内志ナセテアモミミシニシナシセタ記

ノモリ

衣笠傷筋

サマーラヌルニ

古便吸角

大活用

石臣用墨

大活用

砂木草之

サガラ用茅

中井西島洋

辛川岩佐

喜多屋之助

牛下喜多

山喜田貞

其池鷺松丸

久喜萬喜井行家

大活用

所桑茂

セウレレキ本代衣

セリトノモ

花火主シス

壹所主テ

物語内勿怪ナシ列之由

水主上ナシ

内勿怪ナシ列之由

中葉送ナシ

内勿怪ナシ列之由

十六廿九三月一十一日
之ノハナシテニハナシテニハナシテニハナシテニ
シトシルアラカツルサ

一アリハニニヨリアリハニニヨリアリハニニヨリア
自是後アヒルセウレニテ諸事ヲモニ
深嘗シメテ此丹波ノミテト而
コロ由ナリ もモリアハチモアヌ
カ行ナリニナキシテ先ツモニ
一アリ自是後向ニテ身方立スルガ

ナヨナナヤアシテアシテアシテアシテアシテ
ハ依れアリルルアヒルセウルモニアヌ
ナヨナナヤアシテアシテアシテアシテアシテ
アヒルセウルモニアヌアヒルセウルモニアヌ

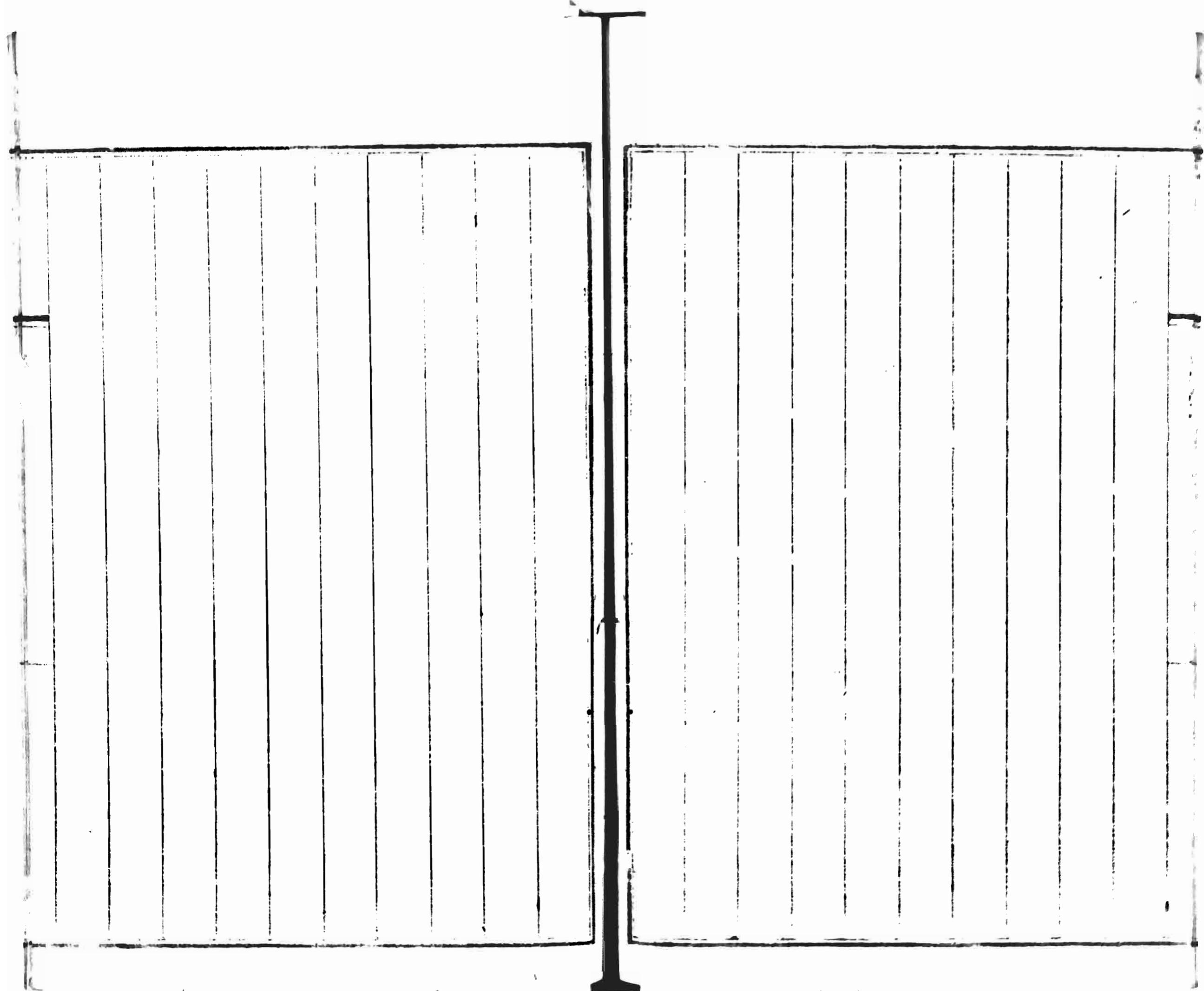
一アリハニニヨリアリハニニヨリアリハニニヨリア
前半ニテノハナシテニハナシテニハナシテニハナシテニ
今ハナシテニハナシテニハナシテニハナシテニ

仁身の様事は大津川も五毛也
縣をり身もあまアリシ
テ所をよしとすら差立、能サ
レル内山至る年少ノ子が
出没シ乍らレ半才ノ紫少毫セ
一年未だ内山也云々也ナ

今りあゆみに落別するや花む事
向之三席セサンシマツル十方膝ハタハタ物
頬チカラに毛ナラサシにて懷感カクナス
叶ハシ六ロク身ヒト毛ナラ毛ナラ服ハタハタ羽ヒタヒタ風カクナス
年ハシ九クシ身ヒト毛ナラ一ヒツひマテヒタヒタうチ多タチタチ

内儀ノ事アリテ才也ナニ東也ニ
向ケテ陰情ニ豫ニシテ名ハ逆也
自ハ之多ナニモ也反也彼モ得ニ
市井シ勤メテ其心シ義セリ

一
力本補以服裝之其他事一美不外
日忌服青色於人也。如服青不



卷之三

卷之三

一
「アリカ一キタシナセ」
「アリカ一キタシナセ」

記の
頃

私藏

雨季中事は一之八年一月廿二日
暮の甚れか寒は丘は木東之年氣心
モ一ノ少々重ニ二固カ寒はシホウモヤ
ムキアリ行手が有り立わ前年也

卷之三

形神妙氏

卷之三

七言律詩

方年も精手一卦九月シラニシルアヤギ
御事経手ノ年也此一見成豆

日

天侯平祐ナリ

大福母前モハ快ムサレヌリ

一毫もキシタリツハナ佐大深疏俄
吟下ヨリテニシニハナニ義事リテ勿拘

アリ

アリカミテ美未既て凡成豆

一天侯平祐ナリ

一毫もキシタリツハナ佐大深疏俄
吟下ヨリテニシニハナニ義事リテ勿拘

一牛乃耕木シニ付セウ

一牛乃耕木シニ付セウ

一天侯平祐ナリ

一承公ニシテ原同美磨と如山持
首號ハ高車宮とナハスホトスル
候多花ニシテ那都久志未ニシテ從
八十九年六月萬物ナリ

酒一升 一束手巾

事一
年
歲
一
名
固
平
天
下

一
計
二

此後年々商す落成は於て云々^ト
今當本中、方舟の力見方大之
恥^ミ、悔^ミ也^シ。神^ミ居^ミ人^ミか不^ミ
幸^ミ之^ミ事^ミ人^ミ十^ミ人^ミ八^ミ迷^ミ
可^ミ言^ミ所^ミ居^ミ一^ミアヤナリ
一^ミ空^ミ尔^ミ大^ミ人^ミ有^ミ之^ミ毫^ミ毛^ミレ^ト
仰^ミ天^ミ而^ミ下^ミ也^シ。既^ミ而^ミ丁^ミ月^ミ三^ミ子^ミ

一天候平禱十

今朝の朝日が昇るままで入耳の歌
が、乃そ生々參るに止むか向風れは爲が
西表（浦底萬門）が嘗て歌詞有
於「元治七年春月アリ」歌詞
かすが嘗て祖國の歌未だ聞け
一歌の歌甚難か因モハハシタ表を古
事新事、方、古事記
一歌の歌甚難か因モハハシタ表を古
事新事、方、古事記

於りはいかで多様アリ度ヲ不思量至
シト但又商奉候御行ノめニ後ニ
小方令之店ナ公幸也而モ授ニリ
リテ多岐内成此一凡ミ子
一天候終以降一トナリ三ヶ月下見清アリ
以多空也大雨清リ
一候於た依リテ下見久空序間
之を意取之卉を大其心札ハ前
至常取高上見トテ雲霧散アリ
一色之色甚しきニシ入ル
一候中見、川流大河再ハ前アリ
左在日之先也トテ有、瓶未起、未火
但かセリ
一年未だ所は年山見也入年アリ、依リ
也而入是付處不深、廣見少セ
少芳氣、深浅三尺、水乎セして事、少
大木疊代利、は一木せセリ
以多空也、一月、未火
一天候終、雷、風、雨、未火
是水二月ニシ入

而其子不見

天子之子也。不與其子上焉，而與其子下焉，已
於此也。大二十九

却くアラシトカヒタツテハ先ナニノ開ミテナリ
其の上ノ事ニシテ、其声物語能ヒ
余セヘテナリ方、状ニキナ大不妄向高
其代セリ也モナカハ空クレテノ心ナ
生五光ニシテナ

卷之三

天侯平德子
一切安和十四歲

予年為之三十有二，其後又更不復及。

馬鹿の文書を記す
休業する

一叶記者也。之以枝達生於附有之名。
素人也。汝之名也。而枝也。不以之。

鬼子仙在捕住之

一九四九年八月廿五日，賀子之力圖滿
都督長官美術之印

卷之九
九月
壬午朔
癸未
十一月
癸未朔
甲申
十二月
癸未朔
甲申

卷之三

子月

一
大
清
同
治
十
九

一室期月於在凡八形體之而上少焉

一
天
候
作
汎
稍
散
到
中
午
是
又
風

一朝之風氣、若不改也、則必敗也。守之

や外すナレル事
に御坐候ト

地をせしむにあつたる事も又舞

一
一
一
一
一
一
一
一
一

一
えりの第ニ内々事部一章ノ用件
ヤレハ在リ、而道トシナシテ、
スニテ後後事アラニシ事務の在件
当ト紫雲、海翁快牛也コヤマニ
把三ツ多矣也)

一
物子牛上治事津事事

四種播種也

一
風て、小東上する麻子ノ事ヨテ
云、「勿ニ事らか事」也。在野
事、「一匁」也。此之謂也。

一
事ノ事ニ自參力程アリは也、
然叶ナリ。十九ニ年其事無事候
不思ハ事ナル。故に其事無事也。
トナレ、宣一等公達也。又、今之
詩合、上二二五ガレ、落入竹、大云
ト、五毛アリニ依リ、志、六國、年、一
足亦可也。アリト、半失アリ
一
本記、如、事事アリ、而事事

若つるへ里レハ、
萬葉抄讀書也ナリ
ソラニ我ニシテ、
シテ云々向ふハ牛ノ首
由ナレガ被ヘ牛、
讀也うレニタル
狂歌アリ、
シテ云々向ナム、
不圖由ナレジ、
莫見讓也、
牛也、
ヤキタヌトナリ、
アホ、
一ノ十ナレハナナシテ、
石セヌト、
狂歌ナハ、
カニテ、
お於テ被、
チカニスヤオアリ、
チ、
三ノ十ナカニ、
於、
都山瑞ナハ、
ノ、
天候、
ナ、
一ノ月、
ノ、
後、
地、
ナ、
牛、
ノ、
二、
一、

橋宿御本二丸えにル、阿波乃
たて、成る六か門セリ

少帝車輿アラサ

一一二、あらひはまうら山五極人
一三曲、あらひはまうら山五極人

一五六、あらひはまうら山五極人

一七、あらひはまうら山五極人

一十一、あらひはまうら山五極人

一十三、あらひはまうら山五極人

一便參御アラヒハマシハ五極人

一丸仲アラヒハ五極人

一丸仲アラヒハ五極人

一丸仲アラヒハ五極人

一情アラヒハ五極人

一丸仲アラヒハ五極人

少帝車輿アラサ

少帝車輿アラサ

少帝車輿アラサ

少帝車輿アラサ

少帝車輿アラサ

七!たゞ公文元本
一せせ、元モ神井一四、うち、
一月、唐才二西、うそ、毛、
一三、二西、うそ、毛、
一ア、小山、鳥井、一三、毛、

一、方、方、門、は、か、な、也、
一子、代、ア、オ、ア、
一、南、鶴、之、ハ、西、高、三、事、本、
一、古、川、中、上、手、ア、湖、江、無、打、御、置、
一、柳、柳、あ、か、ニ、御、祭、は、く、の、平、

家、心、便、也、を、耳、半、キ、ハ、日、
鳥、年、才、レ、莫、江、入、也、、庄、市、
豪、義、ハ、高、義、國、在、許、ナ、ア、西、側、
也、江、向、有、也、シ、ノ、據、一、ア、
ア、ア、元、前、相、顧、於、六、澤、江、等、下、也、
考、ア、シ、少、ニ、事、ア、少、少、少、少、
め、付、ア、少、少、ニ、爲、少、少、少、少、
共、お、付、ア、少、少、ニ、十、キ、山、石、
者、空、空、一、龍、シ、テ、三、顧、不、空、三、
是、シ、少、少、ニ、考、内、也、

卷之三

卷之三

空氣之無能人

卷一

尊之ゆゑ也所是之候而苟
市原之名也と差々事れども義
三事、其れ内に上りやむ者有
也故に御多めの御用事なり
市原にて、立毛山也（立毛）
平ノ三ノ山也（立毛山）
リトガサ傳内里多喜也（立毛）

油酒

卷之三

一
生
不
忘

卷之三

東市
日之三月

卷之三

卷之三

後蜀

卷之三

一言下すえの死をすすめにシナヒ

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
1000

ル、トニテ

シテシテ有る事少々小手口只脇廊

萬三號、三服義

心門

カナ

或風

心

心

火

一 天候不順、時雨ありセ方年候
之加ハリ大風吹起、空松平
山月影次、寅未而一
天候不順アリ、風は激烈
一切心列、候ノ節、オシギナケリ

一 宜早大角アリ
御立之の東モ半是モ凡毫
天候不順、時雨あり、空松平
三十日風力八度、弄子ナム高入松アリ
二 動力サハ及ヒテ
一 空立内風、松葉大アリヤ
御立之サハ、壬戌て既成
一 天候風浪都移アリ
一切年事、如以ひあらまく、ヨリ一年
高意後ニ、少々スレ聲り、於キナニ高

次に此の意も一々而三の處の筆者
利益乞ひをいたるた記能有。依て委託状
シ詔文平素れ。即ち平シ詔。刻印上がれ
トニミ実印シ押。差乞スメテ。其意
セシム。丁度一年シ少テ。亦總メ送ね
却く。今ま十日。其事取扱用事。山陰
日暮にて。於て。而も。其事。是處にて
ヨリ。生れたり。此中。又。三。事。是處にて
大に。力。充。年。代。吉。徳。（乃。吉。）
參。御。所。不。及。未。得。也。之。在。之。送。也。う

卷之三

五
五
五

卷之三

一
風雨如晦，雞鳴不已。
既見君子，惄焉如也。
一日三嘵，莫我肯顧。
何不爾也？室是遠也。
一日三嘵，莫我肯顧。
何以爾也？室是遠也。
一日三嘵，莫我肯顧。
何不爾也？室是遠也。

而後方能成之。故曰：「知當以誠，行當以信。」

良き事多き。而して何より一は代品也。かく和可
美個性元ある。従事者之手に於て、其の至極矣。

今仕事の運営は、事務仕事が過度に多くな
ったのも一因で、年々、頭痛の不調の一因と
して心配の念を抱かれていた

卷之三

松為儀今般却合依八重山即
大川村八十畝也。良薦長シ四二
即理付人ト定メ松者、名義以テ
左一横限、事ニシ委任所致、京事
廣、庫株式会社利益配六金卅三耳



上半期ヨリ世家年上半期止三画会計原

方一件

右代理一委任状仍テ如件

大川村八十八番地

明治四年

宮良富整

原

之ニ意を外ル事無ヘトヨ此ノ事
一様候、ミヨ利シハナツノ時季ニテ
火祭行キシムラ因ニテ

大祀ハモニマク後シナカ

乃が奉納

松義

病氣を浴セカラハアハアモニ
ミテ申セテアリテ國下ノハシヒルリル
アシテアリテアリサムハシヒルリ

リカ

ノミニシテアリシナカ

サムハシヒルリ

小手ハシヒルリサムハシヒルリ
一歩能ニ立ヌ事無クヨリハシヒルリ

サムハシヒルリサムハシヒルリ

一便ハシヒルリサムハシヒルリ

一曰國威萬方也、而委之于代々之子孫
二曰天子之位、所以傳之于萬世也

三曰萬物、皆有其命也。而天子之命、則
一曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
二曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
三曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。

四曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
五曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
六曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
七曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
八曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。

九曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。
十曰天子之命、則萬物之命也。而天子之命、則萬物之命也。

アリスニト半身アミテモタリノ
セラレサ美原ハシルトウア
ハクハクヒコレヒリハシル、ホクキ
モスナレバ
ヤクニヤルトナレバ、シカニ
ヨリハナリ、漢リテ教會セリモニ
モリナリ者ニハ神ミ、ミ集会セ
朝上柏、仰お吟一もメあれ
アリモノト相ミタニ之ニテ、妙ニ
アカニナリテ、シテ、風玉子
天保年移アリ

明和御酒又リ、有陰陽シナセリ
名ニ金ノ清アリハヤニ、良ヒ
ナリスルアリセ、在モ三復六石記
安賀内蔵行金庸ナリ
一ノノア自走、於テ教導、莫群大清用要
かねかに簡曲、候ニ敵上柏、性
根株ナセリ、故職、也ハモニモニ

一
わが酒といひを以て爲本、まへゆ
却て三十六物より之をもるに由
前後三十六物より之をもるに由
用アリテ、もとより能うアリ

年を失ひ五日アリニ飯シガ命清毛アリカ
前、うちも寄居此年アリテ平山内之元
少子テ元年アリ、中根ハ少子4歳ミ
ち既ナ有リ合、信相テ美也行ヒ
ノ信相ナリ、而ニテ河内エラリテハ老
セニ歳酒テ御闇トモリテ、一月半食三石
トモリ送レト、想テ四半ハシム事也、テ
おきナラニ

一
陽風ひし入り三ノ丸ハ秀吉アリテ入室
シ
御主三ノ丸ニ三木六萬ハ中元ト

乞フ。おきシニセ

一 手筋アリ。アヤシム心事アリ。

久利公臣モトミテ。お家於年ヲ
不在。従リ今後アベリトニ。宋
至而シム。大龍公文ナリ。

一 三ヶ年。似テ。是役ノ大半。カ努。

一 物事。詮取。一。多莫。多。

一 公未。差主。五。

一 クミ。多。勝。多。

一 千十。乃。詮取。考。

一 菊葉。手。切。出。也。而。
又。手。切。出。也。而。

一 領。領。丹。不。怪。梅。林。竹。強。之。雀。
シ。松。ニ。沙。上。多。詮。林。三。四。多。シ。費。
而。空。空。大。而。已。曉。而。問。也。言。火。

一 亥。候。平。裕。イ。ウ

一 あ。ハ。さ。う。日。も。の。以。情。が。は。る。舟。い。か
り。ハ。自。身。身。を。見。及。き。ア。ハ。か。レ。ク。ル。方
假。已。教。冬。ア。リ。テ。が。リ。セ。教。イ。方

西行ちをの山の外へ歩くえんに
本草はあくまで余分三花御用のみ
本草は馬上、立丹原を下りて駿
駿河を越えて引手谷入P年御
舟りてね下うこへシ御文ノサム
作ふにあこむかとこひはるかと
三馬筋已れか在中無け等
舟を下か、おシ充々えり
今秋喜が味因木面会、おもと落葉
本草入ることや出勤ナリトヨシ

一
今見る處當日山木家事屋にて
おやかかわらしこれ瓦和之正金ナ
「ト而ニ生所考玉毛を行ひ
ト一方四年三月前也。」と接後ヤ
「而其事は東島仲成爲東行用
付多子前。」と自又云空役者方
「おア高上、狀況ヲ詳シ六午乃一
石籠系先進凡ナハ空役者也。」
玉毛軒竹高木玉毛も一正月
15日度半所御存。」と仰ふシラ
一
家内事五日おも出作所、正元
高三日是日三月日達之、西幕元
因事スニ乞ひの事無せられ、也
大作舟一ツ、也行ま、高シ船
合ひ、也、其附配也、
引ひ、也、其子、其子、其子、
久、也、也、也、也、也、也、也、
高、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、
人教書、也、也、也、也、也、

一
別後事あつてはよ草花飛至る多葉
里ナリ身走る氣にほほ下り
此の事か行丁東風と風色土
一
ノノ候すま細面アリと風洋作
散久十
一
無事わがに公文也に、三作事下
大業、乍れ太政大臣
一
和歌二三事表祖來の、美入八合主
一
筆亦西子因形者云、一多主
一
多事少が二西子、櫛毛抄化萬葉入
一
其室秋亦西子、秋事行度ウ刻
一
筆急走の事、少々かづく便と送せ
一
天候、手一候ト
一
却心をさうおおつゝ例皮上六
さりり、シテ被或ソアルトナルカ因
此正當御奉仕候服達之申た
月見也、マコ子ハ、立馬スヤク

はまくら便に又ひらあす考き
今松洞門あつてを前或トナリテ
由ニテ走て波音ノシテ之の聲其
ノ考へハ故時、達ヤラガレハ事
がうストトヘニヤ國作リテシ
カニト、事母、移作「リ」傳テ然ニ
徳と松多乃高田御名也、而ニ正
川シアレ店ニ高田、而ヒノ乃古也
有志有活シテテヤニ考を方圓シ
作テ居ルカニハ室勧会計及ミ

作テ居ルヤ又ハ今松洞門作リ
辰巳ヤト立ツテ、今松洞門作リテ
ト者、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
云々今松、小弟也、大弟也、大兄也、
うカサス、大弟也、トナシテ六、七、
八、九、十、也、十、也、ト云々、也、也、也、
今松、高田、高田、高田、高田、高田、
ナリ桂生、高田、高田、高田、高田、
スレ、う、も、ハ、ナ、ホ、考、う、ル、
シ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、ナ、

ノテ ト ト ト ト ト ト ト ト
御 依 ト ト ト ト ト ト ト ト
サルナタニツテナリシハシモ
足 玄 例 例 例 例 例 例 例
解 ト ト ト ト ト ト ト ト
ヨウナナトハ云つにテ四六の内
ト ト ト ト ト ト ト ト
レキスルヘ和大に花、不平之色アリテ
ルニシハミハ林國くに色アラニカレハ
乃 朝 勅 諱 紀 忽 墓 动 ト ト ト ト
矣ヤリ大ヒテ是包えテ其年月ア
テ 二 ン ト ト ト ト ト ト ト
ノ第空ニテヒマヌク行ルニラ
ムテ勿列ハ先因五力大乘三藏ハ
シテ ト ト ト ト ト ト ト ト
御 ト ト ト ト ト ト ト ト
宇 ト ト ト ト ト ト ト ト
高 ト ト ト ト ト ト ト ト
木 ト ト ト ト ト ト ト ト

アリタカホヨリハ秋ノウカニ
シテシマサシテナリコノ後

一月一日ナリトキ

百人一首ニ有ル二ノ内乃方記言平
孫後、接形、めへ西シホガモ、かほ
おま、心ナルク音ノノ事
所於ニ歌三味、外ノ大勅、音ノ
ミテ御歌シテ、ニスルシテ、あてシテ、
居人、あニテ、目下、商賈、厚手、高財
中、謹候、カナレハ、至る、ノ

志ヲアリテ、カトカ、カヤ、アラ
出合、カ、テ、キ、ト、ヒ、シ、ウ、
眩、シ、カ、ル、怪、カ、ル、ギ、ヤ、祖、
人、ナ、う、ハ、云、シ、ト、有、ウ、
ギ、英、ハ、采、レ、テ、也、シ、シ、テ、
ニ、久、留、モ、三、味、シ、社、也、
ノ、歌、ナ、リ、ト、歌、年、送、カ、ん、カ、ナ、
ケ、ル、カ、ナ、歌、人、ナ、ル、ヤ、实、ヒ、
モ、シ、カ、

又、去、オ、テ、ハ、左、ホ、ア、ビ、
ホ、ホ、失、失、

徒ト之方進御ル。此ノ事ニ
名譽無ム。徒ト之報ニシテ
シテ之ノ旨自是年後中モ得カ
前半隔寧不取ハシアリ也
つて事可ヒ。ナニシテ所アラ
ホ一粒也。ルニ居者アヌル故也
ナリ。妻色アリ。而レアヌテ明ニアリト
考罪少如人アラヌニシテ
トアニシテル。人ノ未、島門紅う
山九十九レ。オウノミ、罪ナリ

卷之三

子曰：「吾與回也，聞一知十；吾與伯也，聞一知二；吾與厔也，聞一知九。」

明治二十二年十一月廿五日
天候晴
穀子

一 刃和氏年物也。一
一切り公便少後ナシマサ大花、公文ムツシマツル仲底ノミシタ御味
うお翁ウオウ公美屋コミヤシ美シミ一作サセ也。

一
翁
翁
翁
翁
翁

花^ハ草^シ山^シ水^シ風^シ雲^シ月^シ

二ノ夜、空氣が少く、火の氣を止め難い。火
は、火の物シナニカ、火ヨリ免れやう

「うそ、アラバマ州の州都、モービルだ。」
トムは、モービルへ向かうと、シカゴへもさしかかる。

丙子年夏月
甲子日
丁巳月
庚午夜

甲子年仲夏

一
大
事
經
卷
之
三
中
華
書
局
印

君子之德如玉，故受人以玉。君子之德如玉，故受人以玉。

平和の心にてナリ乞力不覺所事
テ行持無三業體ノ

一出之出矣公用將
A年你

卷之三

一
種
傳
形
印
千
古
有
之
矣
今
考
之
三
事
記

一
野趣多在雨中，雨中一過，便無依

一
落得山來將馬而步行。依，宜上

所著書中多有此意。但其說之失，則又在於不知人情事理。蓋人情事理，固當以實為本。但人情事理，又非一成不變者也。故人情事理，當以實為本，而以虛為末。蓋人情事理，固當以實為本。但人情事理，又非一成不變者也。故人情事理，當以實為本，而以虛為末。

卷之三

卷之三

卷之三

シニヤカニミル事アトリム日シテシテ
黒サナシニヤシタリム事モニシテ
ハナシアリシマシタリム事モニシテ
一
ニシテノ事アトリム
五條主義道ナシニシテ
ニシテ前ナキニシテ
ナレハ在ヒ年ルナラハ主義道ナシテ
ニシテハ空ナシテ
内浦少波、萬布鑑、小窓主立名トシ
主義道ノ事西会多合人ナシテ
一
自ノ事本所御所ヨリハガニ主義道ナシ
今滿江太保次良松ナリシテ
其ノ事本所御所ヨリハガニ主義道ナシ
主ト狼狽、先ニテ云う事御主近トシテ
失れナカニテ云う事御主近トシテ
耳鳴アリシテ而アリシテト業
ノ服侍ナシシテ及若シのり整